



2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第1四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	14,935	9.6	2,132	1.3	2,246	0.7	1,591	5.1
2018年6月期第1四半期	13,632	10.0	2,106	5.3	2,231	11.8	1,515	17.0

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 1,870百万円 (△1.3%) 2018年6月期第1四半期 1,895百万円 (66.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年6月期第1四半期	33	61	—	—
2018年6月期第1四半期	31	99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
2019年6月期第1四半期	62,478		44,630		71.4	942	38	
2018年6月期	59,696		43,707		73.2	922	89	

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 44,594百万円 2018年6月期 43,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年6月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	57,500	5.4	9,500	5.7	9,800	5.5	6,600	7.7	139.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年6月期1Q	56,590,410 株	2018年6月期	56,590,410 株
2019年6月期1Q	9,230,965 株	2018年6月期	9,230,959 株
2019年6月期1Q	47,359,473 株	2018年6月期1Q	47,360,315 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得情勢を受けて穏やかな回復基調が継続しました。一方、海外において、米国経済の企業概況は堅調さを維持しているものの、中国経済は投資・消費はやや持ち直すものの基調としては減速しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は149億3千5百万円（前年同四半期比9.6%増）となり、営業利益は21億3千2百万円（前年同四半期比1.3%増）、経常利益は22億4千6百万円（前年同四半期比0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億9千1百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの自社更新が今期より大幅に増加したことに加え、一般法人向けも堅調であったことにより、売上高は32億7千万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は13億2千8百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き堅調に推移すると共に、NBS Technologies Inc.の業績が回復基調にあることから、売上高は17億3千万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益は2億8千4百万円（前年同四半期比39.1%増）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が伸び悩んだことに加え、業務用カッターの新製品関連の経費負担が増加したことにより、売上高は38億6千1百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は3億9千3百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器が堅調に推移したことにより、売上高は4億5千5百万円（前年同四半期比4.8%減）、セグメント利益は1千6百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

⑤ 設計事業

設計事業につきましては、当四半期、収益性の高い耐震診断業務の比率が減少し、且つ本社所在地である広島県を中心とした自然災害が発生した影響により、売上高は9億5千3百万円（前年同四半期比9.3%減）、セグメント損失は4千4百万円（前年同四半期は9千万円のセグメント利益）となりました。当四半期の損失は一過性であり、来四半期以降の回復により通期としては一定の減益に留まる見込みです。

⑥ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は36億5千1百万円（前年同四半期比35.5%増）、セグメント利益は5千6百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて27億8千1百万円増加し、624億7千8百万円となりました。主な要因は、流動資産におけるリース投資資産10億4千4百万円増加、商品及び製品7億5千5百万円増加、投資その他の資産における関係会社株式6億1千9百万円増加等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて18億5千9百万円増加し、178億4千7百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金13億2千2百万円増加、リース債務11億7千1百万円増加等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて9億2千2百万円増加し、446億3千万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益15億9千1百万円の計上、配当金9億4千7百万円の計上等であります。この結果、自己資本比率は71.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月17日付の「平成30年6月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,948	20,410
受取手形及び売掛金	7,677	8,227
リース投資資産	4,361	5,405
商品及び製品	4,756	5,512
仕掛品	551	577
未成工事支出金	189	210
原材料及び貯蔵品	1,003	935
その他	1,204	1,114
貸倒引当金	△44	△45
流動資産合計	40,648	42,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,470	1,460
土地	4,626	4,626
その他(純額)	1,428	1,524
有形固定資産合計	7,525	7,611
無形固定資産		
のれん	2,889	2,991
その他	354	369
無形固定資産合計	3,244	3,361
投資その他の資産		
投資有価証券	1,964	2,168
関係会社株式	4,521	5,141
その他	1,809	1,866
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	8,277	9,158
固定資産合計	19,047	20,131
資産合計	59,696	62,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,938	5,261
リース債務	4,021	5,193
未払法人税等	1,156	395
賞与引当金	130	474
製品保証引当金	0	1
受注損失引当金	6	1
その他	2,652	2,464
流動負債合計	11,907	13,792
固定負債		
リース債務	1,018	994
退職給付に係る負債	1,339	1,348
資産除去債務	8	8
その他	1,715	1,703
固定負債合計	4,081	4,055
負債合計	15,988	17,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,030	9,030
利益剰余金	34,555	35,200
自己株式	△4,700	△4,701
株主資本合計	43,885	44,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	347
為替換算調整勘定	△412	△235
退職給付に係る調整累計額	△49	△47
その他の包括利益累計額合計	△211	64
非支配株主持分	33	36
純資産合計	43,707	44,630
負債純資産合計	59,696	62,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	13,632	14,935
売上原価	8,374	9,553
売上総利益	5,257	5,381
販売費及び一般管理費		
役員報酬	89	92
給料及び手当	1,037	1,040
賞与	—	8
賞与引当金繰入額	264	247
退職給付費用	53	52
その他	1,706	1,807
販売費及び一般管理費合計	3,151	3,248
営業利益	2,106	2,132
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	—	0
持分法による投資利益	77	64
為替差益	45	63
その他	5	5
営業外収益合計	129	136
営業外費用		
支払利息	2	1
貸倒引当金繰入額	0	0
支払手数料	—	7
事務所移転費用	—	6
その他	1	8
営業外費用合計	5	23
経常利益	2,231	2,246
特別損失		
固定資産除却損	0	1
事業構造改善費用	9	—
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	2,221	2,244
法人税、住民税及び事業税	781	712
法人税等調整額	△79	△62
法人税等合計	701	650
四半期純利益	1,519	1,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,515	1,591

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,519	1,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	300	97
為替換算調整勘定	80	203
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△27
その他の包括利益合計	375	275
四半期包括利益	1,895	1,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,890	1,867
非支配株主に係る四半期包括利益	4	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	3,118	1,491	3,999	478	1,050	2,694	12,832	798	0	13,632
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	42	53	10	—	0	9	115	45	△161	—
計	3,161	1,544	4,009	478	1,050	2,704	12,948	844	△160	13,632
セグメント 利益	1,183	204	463	16	90	45	2,003	92	9	2,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額9百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益23百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	3,270	1,730	3,861	455	953	3,651	13,922	1,012	0	14,935
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	15	20	17	—	0	0	54	△4	△49	—
計	3,286	1,750	3,878	455	953	3,652	13,976	1,008	△49	14,935
セグメント 利益又は 損失(△)	1,328	284	393	16	△44	56	2,035	48	49	2,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額49百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益9百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。